



1_子供から大人までサイズ展開豊富。「家族でお揃いのシャツが着れたらいいなと思って作りました」。タイプライタークロスコットンシャツwhite 右からsize3,1各¥13,824、kids size2¥6,264 2_ HUISの松下あゆみさん。結婚を機に浜松の地に移り住んで、遠州織物出合う。子育てをしながら、旦那さんの手助けのもとHUISを運営。3_ HUISのロゴにもなっている白い家。「白い家に暮らす家族と、そのなかに溶け込む白いシャツというイメージがHUIS立ち上げ時のイメージでした」。

2 1
3

服とともに生活する

静岡県・浜松市に住む、〈HUIS〉の松下さんご夫婦。建築家の友人と一から建てた真っ白なマイホームは、HUISのロゴとしてシャツの胸ポケットから屋根をのぞかせています。「自分たちの思い描くライフスタイルを、家という形として落とし込んでいくことが面白くて。そういう、何かを通してライフスタイルを表現できる仕事ができればと思い、HUISを始めました」。家そのものや、そこに住む家族、あるいはその生活全体において、素朴でありながらひとつひとつに愛情を注げる豊かな暮らしを提案していきたい。そんな思いから名付けられたHUISという名前はオランダ語で「家」を意味します。HUIS特有のふくふくとした素材感と、毎日とともに過ごしても飽きのこないシンプルなデザイン身に着けることで、どこか安心する存在として、HUISは暮らしに寄り添い続けます。



Brand

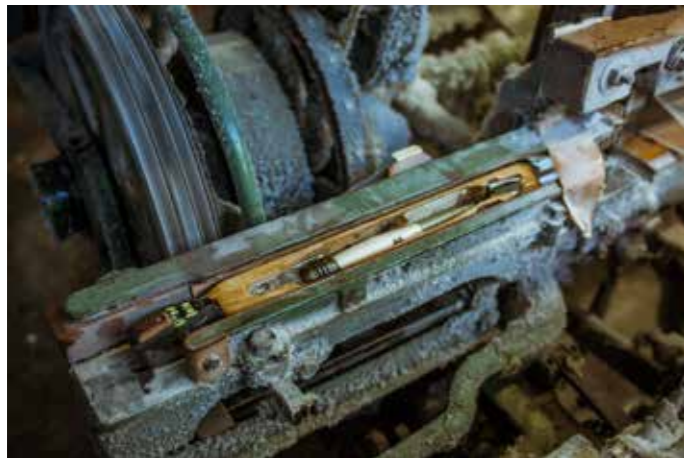
HUIS

ハウス

STYLE ON TEXTILE

011

住まいを作るように、着心地を考える



ふくふくとした生地への愛着

「通常のブランドであれば、生地問屋さんなどで既存の生地を仕入れるのが普通ですが、欲しい生地がなければここでは一から作ってもらえる。それは、この土地でものづくりをする強みですね」。HUISが採用する地元の遠州織物は、糸から生地になるまでのさまざまな工程が、静岡・遠州の地で行われています。そのため、作りたい製品に合わせて、糸や生地を選ぶところからこだわることができるのです。HUISから感じるほっこりとしたブランドイメージも、この遠州織物が持つ素材感から。現在普及している一般的な織機と比べ、織りあがるまでに約10倍もの時間を要する昔ながらの「シャトル織機」と、それを操ることのできる職人の高い技術によって、HUIS一番の特徴であるふくふくとした生地は織られています。凹凸のある素材感は、肌に当たる部分が少ないため軽やかさを感じられ、かつ高密度で織ることから耐久性も非常に高い。低速度で、作業工程においても職人の手作業を多く必要とするシャトル織機で織られた生地は、非効率さと引き換えに、私たちに上質な心地よさを感じさせます。ゆっくりと時間を掛けて丁寧に織ることによって生まれる、ふっくらとした温かみのある風合い。素朴ながら肌を優しく包み込んでいく感覚。言葉ではなく、肌を伝って感じるHUISのライフスタイルは、丁寧に作られた“生地”によって生まれるのです。

1_HUIS特有の凸凹とした風合いの生地は、自然なシワ感が特徴。胸ポケットからのぞくHUISのロゴは、HUISの松下さんの家を描いたもの。2_創業88年目の古橋織布、3代目の古橋敏明さん。口数少なく、寡黙に作業をし続けるその姿はまさに職人そのもの。その後ろには20台のシャトル織機が並ぶ。3_手作業の工程が多いシャトル織機。経糸にも緯糸にも負担を掛けないよう、ゆっくりと時間を掛けて丁寧に織ることができて、豊かな風合いが生まれる。4_設置した経糸の間を何度も往復し、緯糸を通す役割を担うシャトル。1分間に約75回往復するため、シャトル自体も非常に高い耐久性を備える。5_HUISの松下さんと古橋織布のスタッフ濱田さんとの打ち合わせ風景。いくつかのサンプルを並べながら、新しく作るワンピースの生地選び中。

2

3

4

5

1

BRAND DATA

HUIS

<http://1-huis.com>

